

## 銘柄紹介

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)

更新: 10時21分

株式会社フィスコ

### 電気設備工事会社の東証2部案件

#### 投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★
想定仮条件レンジ	500円～520円
予想PER	14.2倍(連)～14.8倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	400円～700円
予想PER	11.4倍(連)～19.9倍(連)

※★印は5段階評価

#### 日程

仮条件提示	8月18日
ブックビルディング期間	8月20日～8月26日
公開価格決定	8月27日
申込期間	8月31日～9月3日
払込日	9月7日
上場日	9月8日

#### 類似会社 3社

平均PER	16.3倍	→	574円
山加電業<1789>	22.4倍(連)	→	788円
弘電舎<1948>	13.5倍(連)	→	475円
サンテック<1960>	12.9倍(連)	→	454円

(PERは8月17日終値の会社側予想ベース)

国内EPC事業、アセアンEPC事業、及び総合メディア事業を展開する。足元では、周波数再編に伴う移動体基地局工事や防災・消防無線整備工事、大型修繕事業の拡大などが見込まれている。また、設備工事案件が増加基調にあるベトナムを中心としたアセアン地域でも事業展開しており、インフラ構築を支援している。

電気設備工事会社のIPOは高成長案件として評価されにくく、セカンダリーでも人気化することは少ない。公開規模はさほど大きくない一方、軽量感が意識される水準でもない。今年の東証2部上場案件は、富士ダイス<6167>を除けばいずれも公開価格近辺での初値形成となっている。

公開規模については12億円前後となる見込み。ベンチャーキャピタル保有株は少ない。



新規公開株レポート

## 銘柄紹介

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)

更新: 10時21分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/8	571	—	286	—	170	—
2012/8	530	-7.3%	217	-23.9%	123	-27.7%
2013/8	633	19.5%	280	28.9%	129	5.0%
2014/8	390	-38.3%	140	-49.9%	76	-40.8%
2015/8 予	-	—	-	—	-	—

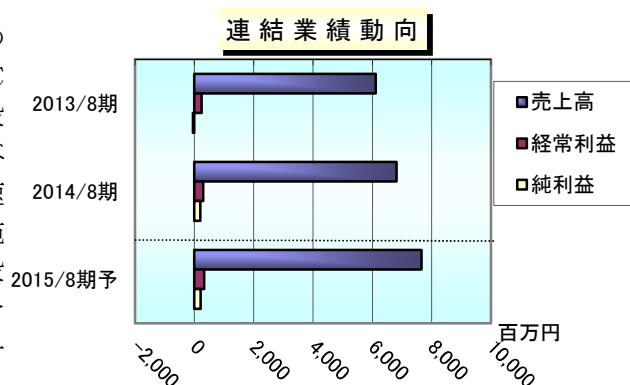
連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/8	6,116	—	248	—	▲ 51	—
2014/8	6,810	11.3%	302	21.4%	206	—
2015/8 予	7,650	12.3%	336	11.2%	210	1.8%
2015/5 3Q	5,569	—	181	—	103	—
予想 EPS/配当		単独: -円 連結: 35.20円(上場時発行済株式数で試算)/7.00円				

## 業績コメント

2015年8月期の業績は、売上高が前期比12.3%増の76.5億円、経常利益が同11.2%増の3.3億円と増収増益の見通しとなっている。

なお、通期計画に対する第3四半期末時点における進捗率は、売上高55.6億円で72.8%、経常利益3.3億円で53.9%となっている。

足元では、同社の国内EPC事業は安定的に受注が見込める顧客に対する電気設備工事・電気通信工事に加えて、周波数再編に伴う移動体基地局工事や防災・消防無線整備工事(デジタル化)、大型修繕事業の拡大(施設、道路付帯設備、再開発案件)、太陽光発電工事やLED照明設置工事等の売上拡大を見込んでいる。アセアンEPC事業では、ベトナム・ハノイにおける新設国際空港の電気設備工事設計・施工や、ベトナム高速道路公社が発注する南北高速道路交通システムの電気通信工事設計・施工、ベトナムに進出する日系企業から新設工場の電気設備工事設計・施工等の売上を伸ばす計画。また、連結化したベトナム子会社の通期業績貢献が見込まれる。



## 銘柄紹介

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)

更新: 10時21分

株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

#### 基本概要

所在地	東京都新宿区新宿一丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 松本 俊洋(昭和18年1月8日生)
設立	昭和45年8月21日
資本金	4億5157万円(平成27年8月3日現在)
従業員数	新規上場会社25人 連結会社433人 (平成27年6月30日現在)
発行済株式数(上場時)	5,966,000株(予定)
公開株式数	公募1,600,000株 売出400,000株 (オーバーアロットメントによる売出300,000株)
想定公開規模	11.5億円~12.0億円(OA含む)
事業内容	国内EPC事業、アセアンEPC事業、及び 総合メディア事業

#### 売上高構成比率(2014/8期実績)

品目	金額	比率
国内EPC事業	5,238 百万円	77.0 %
アセアンEPC事業	764 百万円	11.2 %
総合メディア事業	806 百万円	11.8 %
合計	6,810 百万円	100.0 %

#### 幹事証券団(予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	SMBCフレンド証券(株)	未定	未定

## 銘柄紹介

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)

更新: 10時21分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

### 大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	裕本俊洋	1,212,000 株	25.94 %
2	JESCO 従業員持株会	413,000 株	8.84 %
3	京セラコミュニケーションシステム株式会社	400,000 株	8.56 %
3	日本コムシス株式会社	400,000 株	8.56 %
5	ヤマト電機株式会社	300,000 株	6.42 %
6	株式会社新川	200,000 株	4.28 %
7	西武信用金庫	130,000 株	2.78 %
8	金田孟洋	128,000 株	2.74 %
9	唐澤光子	102,000 株	2.18 %
10	西武しんきんキャピタル企業投資1号投資事業有限責任組合	100,000 株	2.14 %
合計		3,385,000 株	72.44 %

### その他情報

手取金の使途	連結子会社である JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY 及び JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANY の投融資資金(具体的には、工事受注に際して必要となる工事保証金並びに工事の進行に際しての資材・外注費用)として充当し、残額は借入金の返済資金の一部として充当する予定。	
関係会社	JESCO CNS 株式会社 (連結子会社) 国内 EPC 事業 JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY (連結子会社) アセアン EPC 事業 JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANY (連結子会社) アセアン EPC 事業 東京メディアコミュニケーションズ株式会社 (連結子会社) 総合メディア事業	
VC 売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)  
更新：10時21分  
株式会社フィスコ



## 銘柄紹介

同社グループは純粋持株会社制を導入しており、同社及び連結子会社4社の計5社で構成される。事業は、(1) 国内 EPC 事業、(2) アセアン EPC 事業、及び (3) 総合メディア事業の 3 セグメントを展開している。

### (1) 国内 EPC 事業

日本国内における電気設備工事及び電気通信工事等を事業領域として、主に商業施設、移動体通信基地局、防災行政無線、道路付帯設備及び太陽光発電設備等を対象とした配管、配線、機器設置工事等を建設会社、通信電機機器メーカー等の元請事業者及び設計事務所から受注し、設計業務、調達業務、施工管理業務及び保守メンテナンス業務等を展開している。

設計業務とは、元請事業者または設計事務所の仕様に基づいて、工事の設計図面を作成する業務である。

調達業務とは、工事に必要となる資材の選定、資材業者への発注、工事後の元請事業者等への設置引渡しを行うことである。

施工管理業務とは、施工の外注先である協力会社が行う工事全体の管理を行うことである。管理には工程管理、安全管理、品質管理、原価管理等が含まれる。

保守メンテナンス業務とは、機器設置引渡し後のシステム品質の維持管理に係る保守点検のことである。

同社グループは上記業務を一気通貫で受注できる体制を整えている。

### (2) アセアン EPC 事業

ベトナムを中心としたアセアン地域における建築工事、電気設備工事、電気通信工事及び空調衛生工事を事業領域として、主に発電所、空港、工場、商業施設及び道

路付帯設備を対象とした配管、配線、機器設置工事等を施主または建設会社、電気設備会社、通信電機機器メーカー等の元請事業者から受注し、設計業務、調達業務、施工管理業務及び保守メンテナンス業務等を展開している。

各業務の内容は国内 EPC 事業における業務内容と同様である。国内 EPC 事業と同様に、上記業務を一気通貫で受注できる体制を整えている。同事業において JESCO ASIA は主に建築工事、電気設備工事及び電気通信工事等の設計業務、調達業務、施工管理業務及び保守メンテナンス業務等を展開している。JHE は主に電気設備工事、電気通信工事及び空調衛生工事等の調達業務、施工管理業務及び保守メンテナンス業務等を展開している。

### (3) 総合メディア事業

日本国内において、LED ビジョンなどの大型映像装置の設置企画の立案から設計、コンテンツ制作、設置、運用、メンテナンスまで一貫した体制で事業を行っている。具体的には、広告主及び広告代理店を対象に、高速道路から見える場所等に設置しているデジタルサイネージの放映枠を販売している。また、多目的集客施設等を対象に大型ビジョン等の設置のための資機材の調達業務、運用管理、貸出業務、設計業務及び施工管理業務等を展開している。

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)  
更新: 10時21分  
株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

#### 投資のポイント

電気設備工事会社の IPO は高成長案件として評価されにくく、セカンダリーでも人気化することは少ない。公開規模はさほど大きくない一方、軽量感が意識される水準でもない。今年はこれまで3社が東証2部に新規上場したが、6/25 上場の富士ダイス<6167>を除けば、いずれも公開価格近辺での初値形成となっている。今後、8/26 に土木管理総合試験所<6171>、8/28 にラクト・ジャパン<3139>が東証2部へ上場する予定となっており、これら案件の初値が上振れるようなら同社の人気にも好影響を及ぼす可能性がある。

ないものの、大株主の保有占有率が低く、少数株主が多い点は、上場後の売り圧力となる可能性がありやや気になる。一方、前後の IPO はそれぞれ1週間程度空くため、環境は比較的良好と言える。

同社は、主に電気設備工事、電気通信工事、空調衛生工事及びデジタルサイネージを中心とした事業を展開する。足元では、周波数再編に伴う移動体基地局工事や防災・消防無線整備工事、大型修繕事業の拡大、太陽光発電工事や LED 照明設置工事等の売上拡大を見込んでいる。2020 年東京オリンピック関連事業も業績を後押ししているという。また、設備工事案件が増加基調にあるベトナムを中心としたアセアン地域でも事業展開しており、インフラ構築を支援している。

業績面について、2015 年 8 月期は売上高が前期比 12.3%増の 76.5 億円、経常利益が同 11.2%増の 3.3 億円と増収増益の見通しとなっている。類似企業のバリュエーションにはバラつきがあるものの、同社の想定仮条件水準の今期予想 PER は 14~15 倍程度で妥当な水準と言える。

公開規模については 12 億円前後となる見込み。ベンチャーキャピタル保有株は少

## 銘柄紹介

# JESCOホールディングス [1434・100 株]

## 9月8日 東証2部市場上場

2015年8月18日(火)  
更新: 10時21分  
株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

#### 投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

#### 《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

### ■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### ■ 手数料およびリスク等について

#### 国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

#### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

#### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会